

令和 3 年 度

財政事情と主要な施策の成果

魚沼地区障害福祉組合

第1 魚沼地区障害福祉組合会計の状況

1 決算の概要

(1) 決算収支

魚沼地区障害福祉組合会計の決算額

歳入 413,300千円(令和2年度 424,937千円)

歳出 388,640千円(令和2年度 384,430千円)

前年度に比べて歳入歳出は次のようになりました。

歳入 11,637千円減(2.7%減)

歳出 4,210千円増(1.1%増)

形式収支

令和3年度の形式収支(歳入歳出差引額)は、24,660千円となりました。

(令和2年度 40,507千円)

実質収支

令和3年度の実質収支(形式収支から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた額)は、24,660千円となりました。

(令和2年度 40,507千円)

単年度収支

実質収支24,660千円から、前年度実質収支40,507千円を差し引いた単年度収支額は、▲15,847千円となりました。

(令和2年度 14,454千円)

実質単年度収支

単年度収支に財政調整基金積立金2千円を加えた実質単年度収支額は、▲15,845千円となりました。

(令和2年度 ▲24,322千円)

(3) 歳入の状況

ア 歳入科目別内訳

(単位：千円)

区 分			令和 3 年度	令和 2 年度	増 減	
分 担 金 及 び			311, 612	308, 625	2, 987	
負 担 金	市 町 分 担 金	経 常 費 分 担 金	60, 000	60, 000	0	
		施 設 整 備 費 分 担 金	39, 954	40, 017	▲ 63	
	負担金			211, 658	208, 608	3, 050
		児童福祉費		12, 469	12, 278	191
			市町居宅生活 給 付 生 活 費	9, 137	9, 309	▲ 172
			障害児童施設利 用 者 負 担 金	1, 872	1, 356	516
			居 宅 生 活 支 援 利 用 者 負 担 金	1, 460	1, 613	▲ 153
			社会福祉費		199, 188	196, 330
		市町施設入所支 援 介 護 給 付 費		168, 379	163, 742	4, 637
		市町居宅生活 支 援 生 活 費		10, 968	14, 363	▲ 3, 395
		施設支援介護利 用 者 負 担 金		19, 384	17, 509	1, 875
		居宅生活支援費 利 用 者 負 担 金		457	716	▲ 259
県 支 出 金			60, 558	50, 558	10, 000	
	県補助金		582	6, 104	▲ 5, 522	
	県委託金	児 童 福 祉 費 委 託 金	8, 597	14, 135	▲ 5, 538	
	施設給付金	障 害 児 施 設 給 付 金	51, 379	30, 319	21, 060	
財 産 収 入			基金及び積立金	35	67	▲ 32
寄 附 金			寄 附 金	90	90	0
繰 入 金			基 金 繰 入 金	0	38, 800	▲ 38, 800
繰 越 金			前年度繰越金	40, 507	26, 053	14, 454
諸 収 入				498	743	▲ 245
			雑 入	498	743	▲ 245
組 合 債			組 合 債	0	0	0
歳 入 合 計			413, 300	424, 937	▲ 11, 637	

ウ 諸収入の内訳

(単位：千円)

区	分	令和3年度	令和2年度	増 減
雑 入	更生園作業収入	72	68	4
	実習生受入謝礼	78	42	36
	会計年度任用職員 雇 用 保 険 料	122	115	7
	共済保険料還付金	66	63	3
	保険等事務手数料	47	45	2
	私用複写機使用料	1	0	1
	公 衆 電 話 委 託 手 数 料	1	1	0
	自 動 販 売 機 設 置 負 担 金	11	25	▲ 14
	不 用 鉄 屑 当 売 払 い 金	23	0	23
	電柱土地使用料	0	18	▲ 18
	建物災害共済金	77	319	▲ 242
	ガラス破損修理負 担 金	0	47	▲ 47
合	計	498	743	▲ 245

(5) 年度別の主な請負工事と購入備品

(単位：千円)

年 度	金 額	項 目
平成30年度	9,671	魚沼更生園非常発電機設置及び消火栓ポンプ取替工事
	3,996	魚沼更生園女子棟浴室工事
	1,608	魚沼更生園井戸掘削工事
	572	魚沼更生園駐車場水路補修工事
	335	魚沼更生園居室エアコン取替工事
	81	魚沼学園洗濯室流し台取付工事
	50	魚沼学園居室常夜灯取付工事
	1,020	パソコン入替購入費（9台）
	259	液晶テレビ 他魚沼学園入替等備品
	267	炊飯ジャー 他魚沼更生園入替等備品
計	17,859	
令和元年度	4,928	魚沼更生園男子トイレ修繕工事
	1,298	監視カメラ設置工事
	1,177	パソコン入替購入費（9台）
	1,792	公用自動車購入費
	468	移動用スピーカー・アンプセット
	64	液晶テレビ 魚沼学園入替備品
	1,735	全自動洗濯機 他魚沼更生園入替等備品
計	11,462	
令和2年度	2,673	魚沼更生園管理棟トイレ改修工事
	1,518	魚沼更生園居室2室化改修工事
	1,287	魚沼更生園受水槽ポンプ入替工事
	1,199	魚沼更生園居室等エアコン更新工事
	1,177	魚沼更生園屋根裏コウモリ駆除対策工事
	814	業務用乾燥機入替工事
	482	体育館FF暖房機取替工事（2台）
	473	魚沼更生園コードレス電話設備増設工事
	406	魚沼更生園換気扇等更新工事
	210	魚沼更生園防犯灯、駐車場照明取付工事
	1,210	利用者外出用公用自動車購入費
	439	パソコン入替購入費（3台）
	57	3連スクリーン
	88	非接触型検知器サーモマネージャー 魚沼学園入替備品
	145	全自動洗濯機入替購入（3台）魚沼更生園入替備品
計	12,178	
令和3年度	1,980	魚沼更生園居室2室化改修工事
	1,914	魚沼学園女子浴室改修工事
	1,298	業務用洗濯機入替設置工事
	1,045	魚沼更生園女子便所修繕工事
	704	魚沼更生園2階廊下照明器具更新工事
	99	柘植10本伐根処理作業
	96	魚沼更生園観察室モニター取付工事
	64	木製ベッド購入費
	250	全自動洗濯機入替購入費（2台）
	442	パソコン購入費（3台）
	99	ファイル共有NAS入替購入
計	7,991	

(7) 基金積立金の状況

項 目 別	令和2年度末残高	令和3年度中増減			令和3年度末残高	備 考
		積 立 額	取 崩 額	額		
施設整備基金	113,088	24,885		0	137,973	
財政調整基金	70,535	2		0	70,537	
計	183,623	24,887		0	208,510	

(単位：千円)

(8) 地方債現在高の状況

発行 年度	区 分	令和2年度末 現在 高	令 和 3 年 度				借入先	借入利率	その他借入条件
			発 行 額	債 還		年度末 現在高			
				元 金	利 子				
26	社会福祉施設整備事業	104,838	0	7,153	721	7,874	地方公共団体 金融機構	0.7% (固定)	元利均等半年賦償還 (3年据置／17年償還)
26	施設整備事業 (一般財源化分)	141,064	0	10,076	693	10,769	新潟県市町村 振興協会	0.5% (固定)	元金均等半年賦償還 (3年据置／17年償還)
26繰越	社会福祉施設整備事業	111,923	0	7,360	771	8,131	地方公共団体 金融機構	0.7% (固定)	元利均等半年賦償還 (3年据置／17年償還)
26繰越	施設整備事業 (一般財源化分)	143,550	0	9,570	141	9,711	新潟県市町村 振興協会	0.1% (固定)	元利均等半年賦償還 (3年据置／17年償還)
27	社会福祉施設整備事業	2,581	0	170	18	188	地方公共団体 金融機構	0.7% (固定)	元利均等半年賦償還 (3年据置／17年償還)
27	施設整備事業 (一般財源化分)	48,510	0	3,234	48	3,282	新潟県市町村 振興協会	0.1% (固定)	元金均等半年賦償還 (3年据置／17年償還)
	計	552,466	0	37,563	2,392	39,955			

(単位：千円)

歳出について

歳出総額は、388,640 千円となり、前年度決算額（384,430 千円）対比 4,210 千円（1.1%）増額となりました。その主な特徴は以下のとおりです。

① 2 款「総務費」関係

1 項 1 目の一般管理費において、複写機の更新による使用料の増額及び新型コロナウイルス感染予防対策の関係経費である通信費等の増額により対前年度比 84 千円の増額になりました。

1 項 2 目の財産管理費において、工事請負費で、魚沼更生園居室 2 室化改修工事費、1,980 千円、魚沼学園女子浴室改修工事費 1,914 千円、業務用洗濯機入替設置工事費 1,298 千円、魚沼更生園女子トイレ改修工事費 1,045 千円を執行しました。また、パソコンの入替購入費として 409 千円を執行しました。

1 項 3 目の基金費では、利子分の積立として 2 千円を財政調整基金に積増し、利子分と前年度の繰越額の 24,885 千円を今後の施設整備の備えるため施設整備基金に積増しました。その他事務的経費の支出抑制に努めた結果 2 款全体では、予算現額に対して 3,658 千円が不用額となりました。

② 3 款「民生費」関係

1 項 1 目児童福祉総務費では、職員の配置の増及び新型コロナウイルス対応に関する職員人件費で 12,270 千円の増額、居室等修繕料等が 1,458 千円減額となり総務費全体では対前年度比 8,425 千円の増額となりました。

魚沼学園利用児童に対する飲食物費、日常諸費を含む指導訓練費は、サービス利用実績の増加により 13,524 千円を執行しました。

2 項 1 目社会福祉総務費では、職員人件費で 1,672 千円の減額、新型コロナウイルス支援金の報償費 2,100 千円の減額等で総務費全体では対前年度比 6,452 千円の減額となりました。

魚沼更生園利用者に対する飲食物費、日常諸費を含む指導訓練費は、新型コロナウイルス感染防止対策のため帰省中止等の影響で 5,775 千円の増額で 28,904 千円を執行しました。

なお、利用児童、利用者に必要な洗濯機、木製ベッド等の備品入替、購入を行いました。

③ 4 款「公債費」関係

魚沼学園建替事業の財源として、平成 26 年度及び平成 27 年度に発行された組合債の元金及び利子償還分 39,954 千円を執行しました。

・広汎性発達障害

魚沼更生園【定員 40 人／在籍 40 人】

ア 年齢別利用者数

																										(人)
性別\年齡	18	19	26	31	35	36	37	41	42	43	44	45	46	47	48	50	51	52	53	54	56	58	62	64	66	計
男	1	1	1	1	1	1	1		1	3		4	1	2		2	1			1	1	1			1	25
女			1			1		2		2	2	1		1			1	2		1				1		15
計	1	1	2	1	1	2	1	2	1	5	2	5	1	3		2	2	2		2	1	1		1	1	40

イ 障害支援区分認定別利用者数

	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計 (人)
男			1	4	10	10	25
女				5	6	4	15
計			1	9	16	14	40

※ 主な合併症の症状

- ・てんかん
- ・ダウン症
- ・自閉傾向
- ・情緒不安
- ・身体障害
- ・難聴
- ・統合失調症
- ・双極性感情障害
- ・橋本病
- ・痛風
- ・脂質異常症
- ・アトピー性皮膚炎

(2) 市町別在籍者数

区分		市町		小千谷市	十日町市	南魚沼市	湯沢町	津南町	魚沼市	構成市町外	合計
		長岡市	旧山古志村								
魚沼学園	男			1	2	3		1	3		10
	女				2				1		3
	計			1	4	3		1	4		13
魚沼更生園	男		2	4	1	8			10		25
	女	1		6		3			5		15
	計	1	2	10	1	11			15		40
合計		1	2	11	5	14		1	19		53

3 施設運営・支援の概要

(1) 施設運営について

① 魚沼学園

福祉型障害児入所施設として、今年度は入所定員 21 人に対して 16 人でスタートしました。年度途中で 2 人の入所と 2 人の退所、年度末に 3 人の退所があり、年度末には 13 人が在籍しています。内訳は、措置児童 2 人、契約児童 11 人です。

また、在宅の方の支援として日中一時支援事業と空床型短期入所事業を行いました。

② 魚沼更生園

指定障害者支援施設として、今年度は入所定員と同じ 40 人でのスタートとなりました。年度途中で 1 人の入所と 1 人の退所があり、年度末の入所者は 40 人となっています。

また、在宅の方の支援のため空床型短期入所事業及び空床型通所生活介護事業を行いました。

(2) 利用児者の支援について

利用児者に対する支援サービスについては、魚沼学園では児童発達管理責任者、魚沼更生園ではサービス管理責任者を中心として、利用児者の意向、適性、障害の特性、保護者の希望やその他の事情を踏まえた個別支援計画を作成し、これに基づく支援サービスを提供しました。

また、新型コロナウイルス感染症による制約が多い中で、年間行事計画に随時変更を加えながらも利用児者が楽しめる活動を実施しました。

なお、サービス提供中に利用児者に何らかの状況の変化がある場合も想定されることから、期間を定めてモニタリングを実施し、支援内容等の見直しを行いました。

こうした取組を通じて、安心して生活できる環境づくりを進めるとともに、利用児者の状態に即した支援サービスの提供に努めました。

(3) 関係機関や地域との連携

施設運営にあたっては、県の関係機関（障害福祉課、児童相談所等）から指導や情報提供を受けるとともに、構成市町の福祉関係課、相談支援センターの他、知的障害者福祉協会などの関係団体や県内の同種施設等からの情報収集を行いながら連携の強化を図り、サービスの質の向上や利用児者の満足度の向上に努めました。

新型コロナウイルス感染症の影響により例年実施していた魚沼学園・更生園の保護者会総会や多くの行事が昨年度に引き続き開催できないなかで、アンケート調査、機関誌の発行、お楽しみ会への景品の提供など、様々なご協力をいただきました。

さらに、プールや体育館についても建築から 45 年以上が経過しており大規模改修等の検討が必要な時期に来ています。